

校長室から (NO. 48)

外国語によるコミュニケーション

学習指導要領の改訂に伴い、外国語科が完全実施されました。教科書を活用し指導計画の基、年間70時間の学習が位置付いています。従って、週2時間、確実に英語の授業が行われています。

本校は、指導者にも恵まれ、楽しい中でも、決められた表現や単語を学習し、さらには、二人以上の英語でのやり取りがふんだんに盛り込まれています。書く活動も格段に増えました。

それで子供たちは、どうなったのでしょうか？



先日、6年生の授業を見て、驚いてしまいました。これまでの外国語活動から脱却し、英語をつかってコミュニケーションしたり、ALTの話聞き取ったり、教科書に書かれている英文を読み取ったりしているのです。もちろん、使う言葉は易しいものではありませんが、かつて中学校で習っていた内容も多く含まれているように思いました。

中学校の英語の先生にも参観いただきました。小学校の実態を踏まえ、うまく接続した授業が展開されることを期待します。

やがて、子供たちは、「英語のおかげで生き方が変わった」「英語ができたおかげで素敵な出会いがあった」、そんなことが言える大人になっているかもしれません。

さらには、外国語をつかって積極的にコミュニケーションを図り、世界の人と力を合わせて問題を解決したり、平和な社会を築き上げたりする、そんな将来がきてほしいと願います。



感謝のメッセージを英語で伝えています

